

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑨⑬ 郷土芸能（さわうち太鼓）伝承活動を通してふるさとを知り、人とのつながりを築き、地域を見直していく機会とする。	総合的な学習の時間

【題材】

郷土芸能（さわうち太鼓）

【対象】

1 学年

【実践の概要】

1 学年の総合学習の時間を活用し、地域の指導者から、郷土芸能を学ぶ。



【実践の詳細】

- 毎週水曜日 6 時間目に実施
- 会場は学校そばの トレーニングセンター
- さわうち太鼓百年座に依頼し、座長外百年座の皆さんが交互に指導に当たった。
- 練習計画（20回）
 - 4 月 練習のための準備・打合せ
 - 5 月 22 日（初回練習）～6 月 5 日
 - ・・・基本打ち（ドンコドンコ）
 - 6 月 12 日～8 月 28 日
 - ・・・基本打ち、曲練習
 - 9 月 4 日～10 月 9 日
 - ・・・フロアで振り練習
 - 10 月 16 日～11 月 6 日
 - ・・・通し練習、仕上げ
- 演技披露
 - 10 月 13 日
百年座 25 周年 有志（6 名）出演
 - 10 月 26 日
文化祭で総合学習のまとめとして披露
 - 11 月 7 日
地区中文祭ステージ発表
アトラクションとして披露



【授業の展開】

文化祭発表

スローガン ～輝く伝統をつなごう～

期 日 10月26日(土) 9時

参加者 全校生徒71名

保護者・地域の方々

内 容 さわうち太鼓

～清流太鼓～



【生徒の感想】

僕たちは5月から総合の時間を利用して、太鼓の練習をしてきました。

練習を始めた頃は、基本打ちやバチの持ち方すらわからず、教えてもらってばかりで、何一つできませんでした。でも、練習していくうちに徐々にたたけるようになり、楽しくもなっていました。

本番では緊張していたし、まちがえずにたたくことができるか不安だったけど、5月からの6ヵ月間の練習の成果を全て出し切ることが出来たので、良かったです。

はじめは面倒くさくていやだなと思って、いやいややっていたけれど、たくさん練習していくうちに楽しくなって、太鼓をいつやるのかと考えるようになりました。

文化祭の活動がスタートし、太鼓も全員の配置が決まり、衣装を着て練習をしました。そして、本番、各学年、保護者の方が見守り、太鼓は失敗もなく、大成功で終わりました。

今まで太鼓をやってきて、全員の団結力が高まったのではないかと思います。とても楽しかったです。教えていただいた百年座のみなさん、今までありがとうございました。おかげで、最高の太鼓を披露できました。

【まとめ】

毎週水曜日の6時間目に位置づけて行い、地元の百年座の方々のご協力があったはじめて実現できる学習であった。当初は文化祭までに発表できるようになるか心配もされたが、徐々に生徒たちも太鼓のおもしろさに目覚め、短期間で上達していった。

今後さらに、地域の方々の思いや郷土芸能の伝承にも意識を置いて取り組ませていきたい。

【保護者の方々の感想】

○一年生の太鼓は、いきいきとした撥さばき、全員で最後合わせられたのに感動、素晴らしかったです。

○一年生の太鼓が素晴らしかったです。来年も楽しみにしています。少ない人数ながらよくまとまっていたと思います。